

10 6・12総合防災訓練

(1) 目的

昭和53年6月12日に発生した「宮城県沖地震」の災害を教訓として、毎年6月12日を「みやぎ県民防災の日」に大規模地震災害の発生に備え、県、市町村、防災関係機関及び地域住民が一体となって各種訓練を行い、地震災害に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図ることを目的とする。

(2) 日時

平成24年6月12日(火)

(3) 場所

宮城県庁(危機対策課・消防課執務室、庁議室、講堂)、市町村、各地方振興事務所・地域事務所ほか

(4) 訓練想定

平成24年6月12日(火)午前9時00分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0と推定される地震が発生。栗原市で震度7、県内各地で震度6弱～強を観測した。

この地震により、沿岸部に大津波警報が発令され、県内全域にわたって被害が発生し、各地で家屋等の倒壊や大津波、火災等により多くの死傷者が発生。更に、道路や橋梁などの施設に甚大な被害が発生し、JRや地下鉄等の交通機関の運行不能、停電、断水、ガスの供給停止、通信途絶等の甚大な被害が発生した。

(5) 訓練方法

ロールプレイング方式による図上訓練(ブラインド形式)

(6) 参加機関

陸上自衛隊、第二管区海上保安本部、宮城海上保安部、東北地方整備局、仙台管区气象台、宮城県、宮城県警察本部、山形県、仙台市消防局、東北大学病院、東北電力(株)宮城支店、東日本電信電話(株)宮城支店、(株)NTTドコモ東北支社、宮城県医師会、宮城県歯科医師会、宮城県薬剤師会、みやぎ生活協同組合、(株)サークルKサンクス、(株)セブンイレブンジャパン、(株)ローソン、(株)ファミリーマート、宮城県トラック協会、(株)パシフィックネットほか【103機関、3,139人】

(7) その他

平成24年4月27日(金)に、三陸沖を震源とする地震の発生を想定した災害対策本部事務局訓練及び平成24年6月11(月)に災害対策本部事務局設置・運用訓練を実施した。